

「学校給食費無償化を小学生にもひろげて」

新日本婦人の会が市長に要望書提出

伊勢崎市内の3つの新日本婦人の会の支部組織は臂市長に、「早期に学校給食無償化完全実施を求める」陳情書を提出しました。今年度から中学生の無償化を始めた英断に感謝するとともに「すでに県内で25市町村が小学生も無償化しており、伊勢崎市でできない施策ではない。高校生世代の医療費無料化は、伊勢崎市で実施を表明した直後県が半分補助することを決め全県で実施となった。学校給食費無料化でも、伊勢崎市が実施すれば県の実施の原動力になる。物価高騰の中で子育て世代の支援のためにも早期の実施を」と、要請しました。北島元雄・長谷田公子両市議が、同席しました。



新婦人の皆さんが臂市長に要望書提出

臂市長は「財政状況を見て検討する。トランプ関税など不安要素が出てきており、動向を見守る必要がある」と、意欲は見せながらも明確な答弁は避けました。

県下で広がる学校給食費完全無償化（2025年度）

	全額無償	25 市町村
	一部補助	10 市町村
	未実施	0 市町村



●2025年度から新たに完全無償化したのは、前橋市、大泉町、千代田町、川場村です。これにより群馬県は、全35市町村中25市町村が完全無償ということになりました。

「財政力がある伊勢崎市こそ一日も早い完全無償化を」と、求めています。